

《シンポジウム&ミートアップイベント》

オープンイノベーションの更なる深化に向けて
～地域経済エコシステム形成に向けた取組～

ENGINE!

日本のミライと出会う場所

経団連 財務省・財務局 金融庁 経済産業省

Agenda



1. シンポジウム開会の挨拶・フォトセッション（14:00～14:20）

経団連 起業・中堅企業活性化委員会委員長 根岸 修史（積水化学工業 相談役）
財務省 事務次官 岡本 薫明

2. 特別対談（14:20～14:40）

【話し手】伊勢谷友介（俳優、株式会社リバープロジェクト 代表）、【聞き手】大久保幸世（創業手帳株式会社 代表取締役）

※環境問題や社会課題に向き合う会社、リバープロジェクトの活動紹介を通じ、オープンイノベーションの創出による地域経済エコシステムの形成に向けたヒントを伺います。

3. パネルディスカッション（パネル1 14:40～15:30、パネル2 15:30～16:20）

パネル1：大企業とスマートニッチ・スタートアップ企業との連携

オープンイノベーションを生み出す上で、大企業とスマートニッチやスタートアップ企業との連携は不可欠です。パネル1では、大企業側とスマートニッチ・スタートアップ側それぞれの視点から、連携にあたっての秘訣や課題克服に向けた考え方をご紹介します。議論を深めていきます。

【モデレーター】

- 足立 光（株式会社ナイアンティック アジア・パシフィックプロダクトマーケティングシニアディレクター）

【パネリスト】

- 徳永 奈緒美（富士通株式会社マーケティング戦略本部 シニアディレクター 兼ベンチャー協業推進部長）
- 大場 正利（合同会社テックアクセラベンチャーズ 投資パートナー）
- 高野 雅彰（株式会社DG TAKANO 代表取締役）
- 佐渡島 隆平（セーファー株式会社 代表取締役）
- 石飛 光俊（池田泉州キャピタル株式会社 代表取締役）

パネル2：オープンイノベーションと地域経済エコシステム

大企業とスマートニッチ・スタートアップ企業との連携を促進し、オープンイノベーションを生み出すためには、各地域において、地域経済エコシステムが実効的に機能することが不可欠です。パネル2では、各地で活躍しておられる企業、金融機関、行政機関の皆様にお集まりいただき、各地域でどのようにオープンイノベーションを実現しているかを語っていただきます。

【モデレーター】

- 角 勝（株式会社フィラメント 代表取締役CEO）

【パネリスト】

- 銭本 慧（合同会社フラットアワー 代表社員）
- 富田 勝（慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長）
- 安喰 哲哉（株式会社山陰合同銀行 執行役員地域振興部長）
- 今井 早苗（株式会社セールスフォース・ドットコム 執行役員）
- 寺西 康博（財務省四国財務局徳島財務事務所 企画係長）

4. シンポジウム閉会の挨拶（16:20～16:25）

財務省 関東財務局長 田中 琢二

5. ミートアップイベント（16:25～18:00）

特別対談

環境問題や社会課題に向き合う会社、リバープロジェクトの活動紹介を通じ、オープンイノベーションの創出による地域経済エコシステムの形成に向けたヒントを伺います。

【話し手】

株式会社リバープロジェクト 代表
伊勢谷 友介 氏

【Profile】

1976年、東京都生まれ。東京藝術大学美術学部修士課程修了。大学在学中、ニューヨーク大学映画コースに短期留学し、映画制作を学ぶ。『ワンダフルライフ』（是枝裕和監督、1998年）で俳優デビュー。代表作品としては、『龍馬伝』（NHK大河ドラマ、2010年）、『るろうに剣心』（大友啓史監督、2014年）など。2002年、初監督作品『カクト』が公開。2008年、「人類が地球に生き残るためにはどうすべきか」というテーマを掲げ、株式会社リバープロジェクトを設立。様々な企業とともに社会課題解決型のプロジェクトを実施し、10周年を迎える。



【聞き手】

創業手帳株式会社 代表取締役
大久保 幸世 氏

【Profile】

明治大学経営学部卒業後、外資系保険会社、株式会社ライブドア、株式会社メイクショップ（GMOグループ）で経験と実績を積み重ね、創業手帳などで注目されている創業手帳株式会社（旧ビズシード株式会社）を創業。「日本の起業の成功率を上げる」を企業ミッションとしている。



パネルディスカッション(第1部) 「大企業とスマートニッチ・スタートアップ企業との連携」



オープンイノベーションを生み出す上で、大企業とスマートニッチやスタートアップ企業との連携は不可欠です。パネル1では、大企業側とスマートニッチ・スタートアップ側それぞれの視点から、連携にあたっての秘訣や課題克服に向けた考え方をご紹介いただき、議論を深めていきます。

【モデレーター】

株式会社ナイアンティック アジア・パシフィック シニアディレクター
足立 光 氏

【Profile】

P&Gジャパン、戦略コンサルティングファーム等を経て、シュワルツコフ ヘンケルに転身。同社社長・会長を経て、2011年からはヘンケルのコスメティック事業の北東・東南アジア全体を統括。2015年から日本マクドナルドにてマーケティング本部長としてV字回復を牽引し、2018年9月より「ポケモンGO」等のAR(拡張現実) サービスを提供するナイアンティックに参画。ローランド・ベルガー、スマートニュースのアドバイザーも兼任。



【パネリスト】

富士通株式会社
グローバルマーケティング本部
シニアディレクター 兼 ベン
チャー協業推進部長
徳永 奈緒美 氏

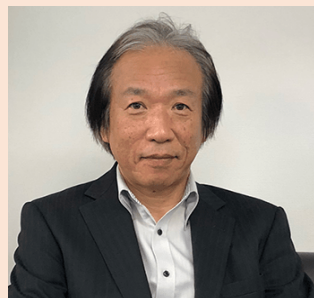


【Profile】

富士通株式会社に入社後、データベースエンジニアとして活動。2000年よりコーポレートベンチャーリングを担当。2007年より米国の業務ソフトウェア子会社取締役を兼務したのち、2011年よりビッグデータ事業開発部門にて、スマホアプリサービス立上げ、他社提携を通じた事業開発を主導。2015年より「Fujitsu Accelerator」の責任者としてスタートアップと富士通の共創を推進。

【パネリスト】

合同会社
テックアクセルベンチャーズ
投資パートナー
大場 正利 氏



【Profile】

東京理科大学理工学部卒。オムロン株式会社に入社以来、デバイス関係を中心とした研究・開発に従事し、2006年より研究所長や研究開発センター長を歴任。2016年に合同会社テックアクセルベンチャーズの設立と同時に投資パートナーとして参画。テクノロジーに特徴を持つシード・アリー中心のスタートアップ企業への投資に従事。工学博士(京都大学)。

【パネリスト】

株式会社DG TAKANO
代表取締役
高野 雅彰 氏



【Profile】

東大阪発のデザイン会社。第一作目の製品『バブル90』は無電力で脈動流を起こして洗浄力を落とさずに最大95%の節水ができる節水ノズル。『超モノづくり部品大賞』のほか数々の賞を受賞。「父親の事業の技術を引き継ぎ、新たな事業を起こして急成長を遂げる企業」として2017年版中小企業白書にも取り上げられている。

【パネリスト】

セーフィー株式会社
代表取締役
佐渡島 隆平 氏



【Profile】

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社に入社後、同社が出資するモーションポートレート株式会社のCMOに就任。2014年にセーフィー株式会社を創業し、2018年には「クラウド録画サービスシェアNo.1」の獲得や、Forbes JAPAN「日本の起業家ランキング」みずほ賞を受賞。防犯・監視だけでなく、生産性の向上や人手不足など社会課題の解決に役立つ映像活用を推進している。

【パネリスト】

池田泉州キャピタル株式会社
代表取締役
石飛 光俊 氏



【Profile】

株式会社池田銀行に入社後、融資部長や本町支店長などを経て前職で産官学連携の推進やスタートアップ企業等への助成金事業を担当。2016年当社へ外向。スタートアップ企業への投資を行いながら延べ156回を重ねる勉強会等を通じて、関西のベンチャーエコシステム構築やオープンイノベーションの推進に注力中。

パネルディスカッション(第2部) 「オープンイノベーションと地域経済エコシステム」



大企業とスマートニッチ・スタートアップ企業との連携を促進し、オープンイノベーションを生み出すためには、各地域において、地域経済エコシステムが実効的に機能することが不可欠です。パネル2では、各地で活躍しておられる企業、金融機関、行政機関の皆様にお集まりいただき、各地域でどのようにオープンイノベーションを実現しているかを語っていただきます。

【モデレーター】
株式会社filament 代表取締役CEO
角 勝 氏

【Profile】
20年間にわたり大阪役所にて勤務し「大阪イノベーションハブ」の立上げと企画運営を担当。2015年、大阪市を退職し、フィラメントを設立。多くの企業で新規事業創出プログラムの構築・実行支援や、独自設計したワークショップとコミュニティ創出手法を用いた人材開発・組織開発を手掛ける。2016年には企業アライアンス型オープンイノベーション拠点The DECKの立上げにも参画し、他のコワーキング・コラボレーションスペースのコンセプトメイクにもアドバイザーを提供している。



【パネリスト】
合同会社フラットアワー
代表社員
銭本 慧 氏



【Profile】
長崎大学水産学部卒業。東京大学大学院大気海洋研究所特任研究員を経て、長崎大学で日本学術振興会特別研究員(PD)。ウナギ属魚類の卵稚仔輸送に関わる海洋環境変動を研究。持続可能な水産業の実現のため、長崎県対馬に移住・起業。漁師をしながら、生産した鮮魚をSNSを活用し直販する。

【パネリスト】
慶應義塾大学
先端生命科学研究所 所長
富田 勝 氏



【Profile】
慶應義塾大学工学部数理工学科卒業。カーネギーメロン大学コンピューター科学部大学院修士課程及び博士課程修了し、その後、カーネギーメロン准教授等を経て同大学 Center for Machine Translation副所長に就任。1990年より慶應義塾大学環境情報学部助教授、教授、学部長を歴任し、現職に至る。

【パネリスト】
株式会社山陰合同銀行
執行役員 地域振興部長
安喰 哲哉 氏



【Profile】
立命館大学経済学部卒業後、株式会社山陰合同銀行入行。2005年より地域振興部グループ長として、PPP/PFI業務を含め多数の地域開発案件に携わる。5か店の営業店長・本部部長を経て、2017年より現職。2018年に実施した「SAN-IN・イノベーション・プログラム」において、事務局長兼アドバイザーとして、斬新な事業創発を支援。

【パネリスト】
株式会社
セールスフォース・ドットコム
執行役員
今井 早苗 氏



【Profile】
東北大学卒業後、NTTに入社。2007年 マイクロソフトに転職。公共インダストリー事業開発担当部長、通信メディア統括本部長などを務める。2015年 サナ・イー企画を立ち上げ、地方のベンチャー、中小企業の営業活動を支援。2016年 セールスフォース・ドットコムに入社(現職)。IT活用による地域課題の解決を目指している。

【パネリスト】
財務省四国財務局
徳島財務事務所 企画係長
寺西 康博



【Profile】
2008年、財務省四国財務局入局。2017年、香川大学と連携し「地方創生アイデアコンテスト」で最優秀賞である「地方創生担当大臣賞」受賞。2018年、四国財務局徳島財務事務所企画係長に就任し、吉野川市等と連携し、再び「地方創生アイデアコンテスト」に応募し地方創生担当大臣賞受賞。アイデアは事業化に向け関係者と検討中。